



2025.6.9 第7号

森田 博

5年「魚のたんじょう」
メダカの卵の観察
顕微鏡の使い方



メダカの小さな命を顕微鏡の世界から

5年「魚のたんじょう」の学習では、今まさにメダカの産卵シーズンを顕微鏡の世界で命に触れながら学習を進めています。どんどん稚魚が孵る中で、毎日のように産卵しているメダカたち。寒い冬の間、水面に氷が張っていても水底でじっと春を待っていたメダカたち。気温上昇と共に水温が23℃を超えると一気に産卵を始めます。子どもたちは、初めて使う顕微鏡で必死にメダカの1mmの卵を追いかけています。そして、顕微鏡で見る卵の美しさに、どの子も感動をしながら学び合う姿が見られます。



オスとメスを選別し、ペットボトル水槽へ入れる。



かいほうばんびきょう
解剖顕微鏡をのぞきこむ

レンズにタブレットを当てて撮影。

使える顕微鏡は2人に1台以上



突然ピクッと体が動きます。血管が速く 動画で見る↑
流れる様子も分かります。目に部分もよく分かる！！

←動画で見る



次回は、何日で孵化をするかをいろいろな卵の成長過程を観察しながら飼育を続けます。また、稚魚を顕微鏡で見たいと思います。